

自由が丘住区のクラブ活動

様々な活動でいきいきリフレッシュ

木曜工作ランド

自由が丘住区センター宮前分室の2階で、毎週開催されている木曜工作ランド。宮前小学校の子どもたちだけでなく、区内に住む小学生たちも楽しく集える場になっています。取材した1月30日は、節分も近いので、節分グッズを製作しました。

この日はあいにくの雨でしたが、開始時間の3時頃には、すでに学校を終えた児童たちが部屋の入口で待っています。入室するとすぐに手を除菌スプレーできちんと消毒してから、受付の名簿に自分の名前を記入します。新型インフルエンザや手足口病等様々な病気が一年を通して流行する昨今、冬だけでない大事な一手間です。子どもたちの行動の流れがとても自然でした。



受付を済ませると、節分グッズに必要な材料をスタッフの方から受け取ります。テーブルにはすでに、工作に必要なハサミや筆記具・のり等が置かれ、スタッフのお母さんたちの指導の下、製作します。作業では、糊で貼りつけるという動作一つを取っても、丁寧に貼り付ける子、大きっぱなしと様々です。描いた鬼の顔も、眼が吊りあがった顔、思わず「可愛い！」と声が出てしまうような優しい顔など、子どもの描く絵は発想の起点が大人の常識の外側にあるようです。様々な鬼のグッズができあがり、最後にこの日は節分用の豆を頂き、終了です。

参加者は42人。平成25年度の利用児童数はこの日で1000人に達しました。

近くに児童館がない宮前小学校エリアで木曜工作ランドの活動を行っている、子どもたちに『木工』という愛称で親しまれています。夏休み・冬休み・春休み以外の木曜日に開催され、一回平均30人前後、多い時には50人以上の子どもたちが利用しています。

材料費は1人20円程度ですが、青少年住区委員会の予算だけでなく、「使わない物だから良かったら使って」と口コミで集まった布や毛糸の切れ端や、様々なものを、ス



タッフの方がアイデアを出し、工作の部品として再利用しています。

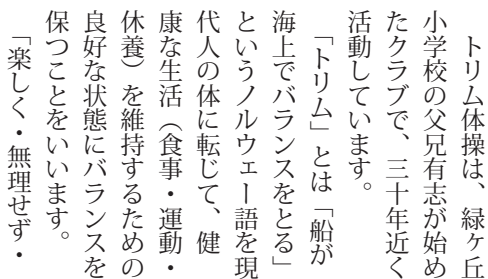
工作ランドでは、子どもたちも大歓迎ですが、お手伝いして下さるスタッフの方も大歓迎です。子どもたちの思いがけない気づきや発想、完成した時の嬉しそうな笑顔は真つすぐで、やはり素晴らしいものなのだと感じます。是非、その姿と一緒に見ていただければ、と思いました。(問合せ先・宮前分室 37231-7104) 青少年住区委員会

トリム体操

トリム体操は、緑ヶ丘小学校の父兄有志が始めたクラブで、三十年近く活動しています。

「トリム」とは「船が海上でバランスをとる」というノルウェー語を現代人の体に転じて、健康な生活(食事・運動・休養)を維持するための良好な状態にバランスを保つことをいいます。

「楽しく・無理せず・続けよう」を合言葉に週一回、緑ヶ丘小学校の



体育館で活動しています。準備体操から始まり、ゆっくりと身体をほぐしながらの体操なので、中高年の方、運動が苦手な方もマイペースで続けることができます。最後に、全員でソフトバレーボールを楽しんでいます。

最近では寒さが厳しいこともあり、中高年の方の転倒事故が多いそうです。日ごろから運動をすることで、柔軟性が身に付き大けがを防ぐことができます。健康な毎日をお過ごしください。皆様のご参加をお待ちしております。

あたまにじゅうまる



場所 緑ヶ丘小学校 体育館

時間 毎週水曜日 午後3時～4時15分

会費 2ヶ月2500円

内容

- ・立位ストレッチ
- ・ラジオ体操
- ・ウォーキング
- ・座位ストレッチ
- ・ソフトバレー

持ち物

- ・敷物 (バスタオル)
- ・上履き
- ・飲み物
- ・運動しやすい服装

連絡先 加瀬 雅津子 37171-7871

楽しく汗を流しました
西部地区スポーツ大会

2月2日、八雲体育館において、西部地区五住区(自由が丘・大岡山・西・中根・八雲・東根)によるスポーツ大会が開催されました。今年度も180人以上の参加者があり大変盛況なイベントとなりました。自由が丘住区からも40人近くの参加がありました。初めにしっかりと準備体操を行った後、午前の部では各住区で企画したニュースポーツを体験しました。ダーツ・フライングディスク・スナックゴルフ・シャッフルボード・輪投げの五種目です。どのコーナーも楽しそうな笑い声が溢れていました。中でも印象的だったのは、自由が丘住区企画の新種目、スナックゴルフでした。腕自慢の大人たちも普段とは勝手が少々違うせいか、苦戦を強いられていました。他のコーナーも何度もチャ...



とても楽しいシャッフルボード

2月7日、緑ヶ丘小学校において書きぞめ大会が開催されました。参加児童は42人。真剣なまなざしで筆をとり、各学年の課題を半紙に書き上げていきました。石川圭一講師による新年の書は王羲之の「蘭亭序」から「恵風和暢」。恵風とは命を育む春風のこと。今年も自由が丘の子どもたちが、春の風に吹かれながら伸びやかに、成長していくことでしょう。最後は恒例のパン喰い競争を参加者全員で行い、楽しい一日を終えました。帰りに、「2年連続の準優勝。来年こそは絶対に優勝しよう。」と子供たちの口からは頼もしい言葉が聞かれました。自由が丘住区 西部地区スポーツ大会実行委員 長谷川 裕

書きぞめ大会

もちつき大会

冬休み明けの厳しい寒さの中、1月8日に宮前小学校において、もちつき大会が開催されました。子どもたちは普段握ることのない杵を持ち、元気におもちをついていました。ついたおもちは子どもたちで自分の分をちぎり、醤油やきなこで味付けをして、おいしくいただきました。事前準備や当日に協力してくださった地域の方々や保護者の皆さま有難うございました。青少年住区委員会



60年前の3月1日、マーシャル諸島ビキニ環礁海域でアメリカの核実験が何十回も行われ、海及び約千隻のマグロ漁船等が被ばくしました。11月30日に映画「放射線を浴びたX年後」を上映。約50人参加。この映画は、四国の南海放送が八年にわたる取材で得た衝撃的な事実をドキュメンタリー化。2月15日には、「ビキニの海は忘れない」と

広島、長崎に続く
ビキニ沖被ばく事件の映画上映

新春の小江戸
川越のまちを歩こう

晴天に恵まれた1月19日、9時に自由が丘駅を14人(内子供2人)で川越のまちへ出発しました。川越駅から小江戸めぐりバスに乗り徳川家ゆかりの喜多院へ行き、天井絵のすばらしい家光生誕の部屋、春日の局の化粧の間を見学しました。また表情豊かな五百羅漢を観て、自分の干支を抱えている羅漢様を探しては童心に帰り、次の川越城本丸御殿へ向かいました。川越のシンボルでもある「時の鐘」のある



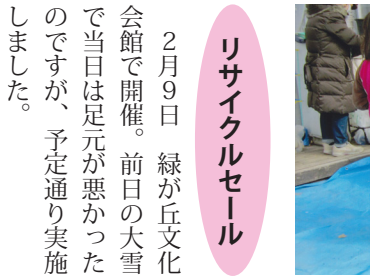
「わしも死の海におった」を上映。高知の高校生と先生の活動等を映画化。大雪の中、15人が参加。これらの映画は、被ばくしたマグロ漁船員が病に倒れたことも伝えている。被ばく手帳も交付されず、多くの漁民が苦しんでいるという事実は新鮮でもあり、衝撃的だった。同時に東日本大震災の原発事故を原因とする被ばく、今なお続く海洋汚染も思い起こされた。

春の防災訓練

日時 4月13日 日曜日
9時30分~12時
場所 自由ヶ丘学園 (小雨決行)
内容 発災対応型訓練
初期消火、煙体験
起震車、アルファ
化米、豚汁など
主催 自由が丘町会
自由が丘商店街
振興組合
連絡先 自由が丘町会防災部
加藤 3717
5566

イチゴを育てよう

今年度2回目の「地域交流の会」はイチゴの栽培です。植え時を少し過ぎ、育ちが心配ですが、やってみることにしました。12月8日師走の風が吹く寒い日でしたが、緑小の畑の暖かい所をお借りして始めました。前回のミニトマトと同様に標準的な用土を皆さ



環境整備委員会

リサイクルセール

2月9日 緑が丘文化会館で開催。前日の大雪で当日は足元が悪かったのですが、予定通り実施しました。



自由が丘住区住民会議
第36回
定時総会開催のお知らせ
日時 5月11日(日)
13:30より
場所 緑が丘文化会館
(本館)第3研修室
議題 25年度活動報告
26年度活動計画と予算
問合せ 自由が丘住区センター
(電話) 3718-1195

木曜工作ランド

住民の方々からの献品は従来より少なく、主催委員持ち寄りの品と合わせ、出店15店(申し込み20店のところ5店不出店)と共に行いました。来会者も雪の影響で通例の半分60人余で、収益も少な目でした。恒例のお楽しみ抽選会も実施し、当選された方々に喜んでいただきました。前回(9月)の売り上げと合わせ、16台目の椅子を目黒区社会福祉協議会に寄付いたします。(今回は9月) 地域活動委員会

発行 自由が丘住区住民会議
目黒区自由が丘 1-24-12
編集 広報委員会
電話 (3718)1195
メールアドレス
jiyugaoka19@bz03.plala.or.jp

この冬は、東京でも四十数年振りと言われる大雪に見舞われ、皆様も、馴れない雪かきにご苦労されたと思います。しかし、先日出張で訪れました熊本では、既に菜の花が咲き誇っており、一足早く春の息吹を感じて参りました。この東京でも、春の暖かな日差しが降り注ぐ日は、きつともうすぐ。重いコートを脱いで、寒さで固くなった身も心も思い切り開放しましょう。 貞本幸宏

5月
1日 メモボケット
8日 母の日グッズ
15日 おたのしみ
22日 ゴリラ
29日 マリオネット
プラバン

編集後記

青年住区委員会